

平成28年 第4回  
京田辺市議会定例会

一般質問（質問項目・要旨）

傍聴用

京田辺市議会

## 12月定例会一般質問日程

月 日	通告順位	議 員 名	ページ
12月7日 (水)	1	こばやし き よ し <b>小林喜代司</b> (みらい京田辺)	1
	2	ますとみり つ こ <b>増富理津子</b> (日本共産党京田辺市議会議員団)	3
	3	つぎ た のり こ <b>次田典子</b> (無 会 派)	5
	4	あ お き こうじろう <b>青木綱次郎</b> (日本共産党京田辺市議会議員団)	7
	5	かわもと たかし <b>河本隆志</b> (みらい京田辺)	9
12月8日 (木)	6	うえ だ たけし <b>上田毅</b> (一 新 会)	11
	7	さく ら い た つ し <b>櫻井立志</b> (公 明 党)	13
	8	お か も とりょういち <b>岡本亮一</b> (日本共産党京田辺市議会議員団)	15
	9	にし は た と し ひ こ <b>西畑利彦</b> (日本共産党京田辺市議会議員団)	16
	10	なんぶ と し こ <b>南部登志子</b> (無 会 派)	18

月 日	通告順位	議 員 名	ページ
12月12日 (月)	11	いち だ ひろし 市 田 博 (一 新 会)	20
	12	よこやま えいじ 横 山 榮 二 (日本共産党京田辺市議会議員団)	22
	13	かわ だ み ほ 河 田 美 穂 (公 明 党)	24
	14	す ず き や す お 鈴 木 康 夫 (一 新 会)	25

※質問時間は、質問答弁併せて60分以内としています。

<p><b>1 「お茶の京都博」開催に伴う本市の対応について</b></p>
<p>平成29年に「お茶の京都博」が山城地域一円で開催される計画で実行委員会を発足して進められているが、本市はどのような計画、対応をされるのか。</p>
<p><b>2 山手幹線開通の見通しと府道八幡木津線の交通安全対策について</b></p>
<p>(1) 山手幹線全線開通に向けて工事中であるが、当初計画より遅れている。全線開通はいつ頃になるのか。</p> <p>(2) 全線開通時には薪茶屋前交差点の右折レーン改良工事は完成し、田辺本町付近の大型車の交通規制は実施されるのか。</p> <p>(3) 三山木地区の府道八幡木津線から山手幹線までのアクセス道路となる、市道南田辺三山木駅前線はそれまでに開通するのか。</p>
<p><b>3 コンパクトシティへのアクセス道路について</b></p>
<p>(1) 京都府田辺総合庁舎北地域で計画されているコンパクトシティへの進入道路は、主に市道新田辺駅前線と薪新田辺線の2線であるが、対応はできるのか。</p> <p>(2) 完成時には、市道薪新田辺線のアンダーパスの緊急時の安全確保もできるのか。</p> <p>(3) 市道久保橋田辺線（通称浜新田道）と市道新田辺駅前線の交差点に信号機は設置されるのか。</p>
<p><b>4 有害鳥獣の対策について</b></p>

小林 喜代司

市内各地域において、有害獣（特に猪）による農作物への被害が増加している。本市も対策は進められているが、特に普賢寺、打田、高船、天王地域の被害が増加している。市の対策は。

## 1 高齢者施策について

ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦のみの世帯、認知症高齢者が増加していく中で、高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるよう高齢者を支えるための仕組みと基盤整備が必要で、急がれる課題だと考える。

- (1) 介護保険制度において、介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）に本市では今年3月から変更されたが、サービス、認定等の現状は。また、段階的に多様なサービスを導入すると言われているが、今後の見通しは。
- (2) 在宅介護におけるデイサービスやショートステイは、欠かせない制度。もっと利用しやすいサービスに。
- (3) 公営住宅等に併設されている高齢者施設が各地で増えてきている。本市でも設置の検討を。

## 2 子育て支援制度について

- (1) ひとり親家庭に対して支給される児童扶養手当を現行年3回の支給としているところを、家計のやりくりに見通しが立てやすくなるように毎月支給へ。
- (2) 就学援助金が、援助を必要とする時期に速やかに支給できるよう改善を。特に入学準備金の入学前までの支給を。
- (3) 経済的困難を抱える家庭の子どもたちへの学習支援事業の現状と改善策は。

## 3 収集ごみの現状と課題について

- (1) 今年10月から行われたごみ分別方法変更に伴うごみ収集の現状は。また現在の課題と改善策について、市の考えを問う。
- (2) わかりやすく、ていねいな市民への対応がもっと必要だと考える。市民の声を聞くアンケートや説明会の予定は。

#### **4 安心安全なまちづくりについて**

- (1) 日常よく利用され、生活道路になっている馬坂川西側歩道の安全対策について、府と協議、検討を。
- (2) 地域活性化にも大きく影響してくる課題である、新田辺駅東側地域の整備について、市の具体的な計画を問う。
- (3) 今年4月から京田辺市いきいきサポートセンターが新田辺駅東側に設置された。駅からの順路となる道路のバリアフリー化への取り組みは進んでいるのか。

**1 多様な教育機会確保法が検討されていることについて**

- (1) 確保法の制定について教育長の認識と夜間中学設置への取り組みについて問う。
- (2) 夜間中学設置について教育委員会で議論をしているのか。
- (3) 夜間中学の通学対象者となるケースが幅広くなる事もあるので、専門の担当者を設置し、健康福祉部との連携もすべきだ。
- (4) 不登校生の卒業後の調査を行い、引きこもりとなっている人の相談窓口を設置せよ。

**2 高齢化社会における市民サービスのあり方について**

- (1) 高齢者が元気で健康寿命を延ばすために、公共交通費、とりわけバスの運賃を補助すべきだ。
- (2) パソコン教室やスマホ教室を行うべきだ。
- (3) 大型ゴミ収集が有料化となったことによる、サービスの充実を図るべきだ。
- (4) ボランティア団体なども高齢化している。研修には市の公用車も利用しやすくするべきだ。

**3 市民の安全を守るために**

- (1) JR大住駅の改修を行い、障がい者や高齢者が安全に利用できるようにすべきだ。
- (2) JR大住駅にはロータリーもなく送迎の車で危険だ。改善せよ。
- (3) 小学生の登下校時にボランティアの協力を得ているが、市の責務を果たすべきだ。
- (4) 山手西の児童・生徒の通学の安全をしっかりと保障せよ。



次田 典子

- (5) 山手幹線全線開通に向け危険箇所の点検を行い、改善せよ。
- (6) 今夏に開かれた花火大会の安全性について。

### 1 市長の政治姿勢について

安倍内閣は戦争法＝安保法制にもとづき、南スーダン P K O に派遣された自衛隊に「駆け付け警護」の任務を付与した。しかし現地の情勢は悪化しており、仮に「駆け付け警護」を実施すれば自衛隊が戦闘に巻き込まれ、隊員の生命が危険にさらされる。

再び「戦死者」を出しかねない事態であり、「駆け付け警護」任務の撤回と、自衛隊の南スーダンからの撤退を求める世論を大きく広げることが重要と考えるが、市長の見解を問う。

### 2 新ゴミ焼却場建設に関わって

この7月に発足した枚方京田辺環境施設組合は、新たなゴミ広域処理施設建設の事業手法について、京田辺市、枚方市から「公設民営・D B O方式」が望ましいとする引き継ぎを受けており、それに沿って進めている。

- (1) 本市として、「公設民営・D B O方式」が望ましいとするに至った経過と、その根拠を明らかにされたい。
- (2) 「公設民営・D B O方式」には、リスク管理、情報公開、地域経済への貢献、職員の能力と力量の確保などの課題があると考えますが、それらについての市の見解を明らかにされたい。

### 3 小中学校校舎整備及び留守家庭児童会（学童保育）施設整備の年次計画作成を

- (1) 小中学校校舎について、新校舎が建設された学校もあるが、一方で建築から数十年がたち、老朽化している校舎もある。

そこで三山木小新校舎及び田辺中新校舎の設備などを本市の基準として、市内すべての小中学校校舎を整備していくための年次計画を作成すべきと考えるが、市の見解を明らかにされたい。

- (2) 留守家庭児童会（学童保育）の施設について、松井ヶ丘小校区の施設を本市の基準として、市内すべての施設を整備していくための年次計画を作成すべきと考えるが、市の見解を明らかにされたい。

#### 4 地域要求について

- (1) 松井区内を流れる吉原川改修及び、防賀川と虚空蔵谷川の合流部の改修工事の実施時期など具体的な計画を明らかにされたい。

- (2) 松井ヶ丘幼稚園から大住中、大住ふれあいセンター方面へ抜ける遊歩道整備の具体的な進捗状況と、供用開始時期の見通しを明らかにされたい。

- (3) 松井山手駅と松井ヶ丘3丁目の間にある「階段」へのスロープ設置について、その後の取り組みの状況を明らかにされたい。

### 1 小学校の英語教育について

- (1) 2020年から英語教育完全義務化となるが、本市の見解は。
- (2) 開始されるまでの計画、スケジュール工程は。
- (3) 実施後の授業時間や授業方法、または、他教科の時間割り配分などがどのように変化していくのか。
- (4) 完全義務化に先立ち、2018年からは外国語活動が前倒しされ、3、4年生で英語が必修化されることになるが、それらについての教育方針は。

### 2 玉露のまち京田辺市について

- (1) 玉露・緑茶等を市民や他の自治体、全国に発信できる新たな取り組みを進める考えは。
- (2) 玉露・緑茶で乾杯条例等を制定することも、施策の一つと考えるが見解は。

### 3 空き家対策について

- (1) 現在、市内で把握している空き家の件数は。
- (2) 現在、調査している空き家の件数は。
- (3) 空き家対策についての具体的な施策は。
- (4) 空き家バンク等を創設する考えは。
- (5) 更地にした場合、固定資産税等の特例が適用されないため空き家がそのまゝの状態である可能性も考えられる。税条例を改正することも施策の一つと考えるが見解は。

### 4 命を守る施策について

耐震シェルター助成制度確立に向けての今後の見解は。

## 5 子育て施策について

- (1) 水疱瘡の予防接種は、2回の接種が必要だが、助成の対象は1歳～3歳となっている。3歳までに2回接種できなかった子どもに対し、助成制度を設ける等の措置を講じていく考えは。
- (2) ロタやおたふくかぜの予防接種費用に対する、助成制度を設ける考えは。

### 1 学校給食について問う

全国各地での給食費未納問題について、本市の小学校での状況を問うと共に、中学校昼食等検討委員会において、未納問題が生じた場合の対処、及び、未納を引き起こせない納付方法についての検討もされているのかを問う。

- (1) 小学校における現時点での未納件数及び未納額を問う。
- (2) 中学校において完全給食に至った場合のデメリット処理をどう考えるかを問う。
- (3) 中学校において未納額が増えるであろうとの見解があれば、委託弁当継続も視野に入れ検討するべきであるとするが市の見解は。

### 2 学校のいじめ問題について問う

- (1) 小・中学校においてのいじめ問題の現状を問う。
- (2) 本市のいじめは減少しているのか。近隣の他市において警察に届けを出すべき事態となるいじめがあったと聞くが、本市においてはどうか。
- (3) いじめ問題に対し、小・中学校、及び教育委員会の対応を問う。

### 3 幼稚園におけるエアコン設置について問う

- (1) 各幼稚園におけるエアコン設置の導入計画は。
- (2) 幼児の体力を考えれば早急に設置対応すべき。市の見解は。

### 4 地域問題について

上田 毅

9月・10月の豪雨時において、打田区の市道西側の土手がずり下がったことにより、区に対し市よりブルーシート及び土嚢袋の提供をされたが、その後の対応及び対処は。

### 1 安心・安全の救命対策について

- (1) 地域の区・自治会公民館にAEDの設置を市は推奨しているが、どの程度進展しているか。市として設置助成をすべきでは。
- (2) 市内全小・中学校にAEDを設置しているが、校舎など建物内に設置されている。休日や夜間に持ち出し易い屋外に設置場所を変えてはどうか。
- (3) 休日・夜間などは施設が施錠され、持ち出しができないことがある。24時間営業しているコンビニにAEDを設置するよう、市として事業者費用の助成を図ってはどうか。
- (4) 小学生を対象にした「ジュニア救命士」を育てる取り組みとして、「ジュニア救命士講習」を実施し、命の教育を行ってはどうか。

### 2 食品ロス削減に向けた取り組みについて

- (1) 学校給食における食べ残しや残菜などの「食品ロス」を削減する食育・環境教育への取り組みは。
- (2) 学校に生ごみ処理機を設置し、食べ残しや残菜などの廃棄物の堆肥化、リサイクルへの考えは。
- (3) 賞味期限前の災害用備蓄食料品のフードバンクへの提供など、活用する考えは。

### 3 市制20周年記念の事業について

- (1) いよいよ、来年4月1日には市制20周年を迎える。市はこれまでにどのような記念の事業を予定しているのか。
- (2) 市は9月議会に同僚議員の質問に、20周年を記念した思い出に残る婚姻届や出生届を作成するとの答弁をしている。その後の進捗は。



- (3) 本市で開催される全国的なスポーツイベント（ツアー・オブ・ジャパン、小学生ハンドボール大会など）に記念グッズの作成をしては。
- (4) ふるさと納税の返礼品に20周年限定の品物を加え、本市のアピールを図っては。
- (5) 20周年を記念して、平成29年度中に二十歳を迎える男女に記念品を贈る事業を計画しては。

**1 小中学校の図書館司書の配置について**

- (1) 本市では、中学校 3 校、小学校 9 校、計 12 小中学校に 4 名の司書が配置されており、1 名の司書が 3 つの学校を受け持ち、3 週間で受け持ち校を一巡している。子どもの読書環境の改善を図るためにも、1 校 1 名の学校司書の配置を求める。
- (2) 雇用にあたっては、継続して働き、責任をもって学校図書館運営に携わることができるよう、専任・専門・正規での学校司書の配置を求める。
- (3) データベース化の実施と、その進捗状況について問う。

**2 子ども施策について**

- (1) 本市においては、今後人口増加が予測されている。とりわけ市南部地域においては、子育て世代の増加もあり三山木幼稚園に入園したくてもできない状況が続いているが、市の認識を問う。
- (2) 三山木小学校区内での入園希望者全員を受け入れできるよう、早期に三山木幼稚園を増築すべきと考えるがどうか。

**3 交通安全対策について**

- (1) 三山木保育所に通所する際、府道生駒井手線（同志社南から二又交差点）より北側に居住している方は、信号機のない横断歩道を渡らなければならない。近年、交通量も増え横断することが困難な実態について市の認識を問う。
- (2) 三山木保育所に通所する方や、近隣住民が安全に横断できるよう保育所北側の府道生駒井手線（交差点）に信号機の設置を求める。

**1 田辺地区における「コンパクトシティ構想」の現状と課題について**

- (1) 現段階での概要（敷地規模、事業総額、施設内容、周辺整備、交通網など）と年次計画はどのように考えられているのか。
- (2) 計画を履行するにあたり重視する課題をどのように整理されているのか。とりわけ、安心・安全の課題は重要であり、そのための基盤整備をどのように考えているのか。
- (3) 周辺整備において、高齢者や子どもを対象とした歩道整備とバリアフリーの課題は、まちづくりを行ううえで重要と考えるが、どのように考えているのか。
- (4) 計画地域は、天井川である天津神川の危険性や本市ハザードマップに示す浸水想定区域であり、特段の整備が必要と考えられるが、どのように考えているのか。
- (5) まちづくりを行うには、市民参加の形態が必要と考えるが、どのように考えているのか。

**2 本市、公共工事等の発注における設計・審査の実態について**

- (1) 市民の新たな財産や財産を維持管理することは、市民から付託された重要な任務であり、その計画・設計に当たっては、組織的な管理が必要と考える。本市では、「法令遵守」、「安心・安全」、「コスト縮減」、「費用対効果」などの課題をどの時期にどのような組織でチェックされているのか。
- (2) 設計・審査を行うにあたり、技術的・専門的審査が求められるが、適切に人員は確保され、配属されているのか。
- (3) 技術向上に向けた職員研修の実態と研修による成果をどのように把握され、活かされているのか。

### 3 難聴者への支援について

- (1) 難聴者の多くは、地域でのコミュニケーションの場を求めており、より身近な自治会公民館など施設整備すべきと考えるが、本市として、どのように考えているのか。また、災害時での避難対応支援はどのように考えられているのか。
- (2) 日常の支援策として、コミュニケーションに必要な手だて（要約筆記、補聴器の交付、補聴器購入に際しての補助など）をどのように考えられているのか。特に、現状の身体障害程度等級による難聴者へのサービス利用には制限があり、実態やニーズが反映した等級と国際基準に見合うよう身体障害者福祉法を見直すよう京都府・国へ働きかけるべきであるが、どのように考えられているのか。
- (3) 本市では、2011年に病院や公的機関に「耳マーク」を表示し、難聴者への配慮や筆記でのコミュニケーションを行える環境作りに努めてきているが、その普及状況と啓発効果をどのように把握されているのか。

**1 外国人居住者の方々とともに暮らすまちづくりについて**

(1) 京田辺市においても、就労を目的とされる外国人居住者の方々が増加している。それに伴い、さまざまな課題も出てきている。とりわけ、医療機関における言葉の壁は重要な課題と認識する。医療通訳の確保、制度化が必要と考えるが、市の見解を問う。

(2) ALTおよびCIRの方々の課題と期待すること。

ア これまで市および教育委員会が提供してきた住居は、その地理的条件等から代々不評であった。ここ数年、転居するALT、CIRも増加している。また、その際の保証人の確保や引っ越しの手続等は自己責任とされるため、転居を思いとどまる方もおられると聞く。多くの方に不評であるならば、現在の条件を見直すべきと考えるが、市および教育委員会の認識と今後の対策を問う。

イ ALTおよびCIRの方々の出身国は実にさまざまであり、それぞれの国の歴史や文化、現在の社会状況には大変興味深いものがある。そうした話を彼らから直接聞くことができるのは大きなチャンスでもある。市民や生徒たちに対して、そうした機会を増やすことも必要と考えるが、市および教育委員会の見解を問う。

**2 支援を必要とする子どもたちの課題について**

(1) 支援を必要とする子どもたちには、授業へのサポートだけではなく、クラスメートたちと上手く関わりが持てるようにサポートしてもらうことも重要である。そのことはまた、子どもたちが、障がいがある方や支援を必要とする方々への理解を深めることにも繋がる。教育委員会の認識と対策について問う。

- (2) 9月議会で、支援を必要とする子どもたちのご家族、とりわけ兄弟姉妹へのサポートが必要であると質問した。市や学校で、そうしたサポートをしっかりと行えるよう、相談体制の充実をはかるべき。
- (3) 支援を必要とする子どもたちを巻き込んだ防災教育および避難訓練が必要であると考えているが、市および教育委員会の認識を問う。
- (4) 不登校や引きこもりと、発達障がいとの関連性について、教育委員会はどのように認識しているのか。

### 3 防災について

- (1) 豪雨時の一時避難所について、見直すべき地域があるのではないか。
- (2) 各地域に設置された防災スピーカーの有効度について検証されたい。
- (3) 田畑や河川を含む危険箇所の調査実施を求める。

### 4 HIV、AIDS、性感染症対策について

ここ数年、若年世代の梅毒患者が急増している。また、その他の性感染症患者も増加する傾向にあることを鑑みると、HIV、AIDSの罹患率も一層高まっていると予測される。早い段階からの性教育をしっかりと行っていく必要があると考えるが、市および教育委員会の対策について問う。

<p><b>1 本市の公共施設総合管理計画と公共施設白書の整合性</b></p>
<p>(1) 公共施設を安全に長期的・合理的に管理運営ができるか。                  (2) 公共施設の面積表示だけでなく、建築物評価は確認できているのか。                  また、安全度は。</p>
<p><b>2 企業誘致が京田辺市を豊かにする</b></p>
<p>(1) 大住工専拡大事業において、地権者の同意率を高める条件の中に治水対策がある。吉原川、また防賀川と虚空蔵谷川合流部改修工事の進捗状況は。また、一步前進して農振解除の手続きは。                  (2) 働く世代が地元企業で勤務する割合は。                  (3) 地元企業数（働く場所）は増えているのか。今後の見通しは。</p>
<p><b>3 安全安心な街、災害の少ない街、災害に強い街</b></p>
<p>(1) 興戸東垣内の住宅開発で指摘のあった避難通路、避難場所の確保と現状は。                  (2) 緑豊かな京田辺市として、街路樹の管理と市民への対応策は。</p>
<p><b>4 青少年健全育成の視点から</b></p>
<p>(1) 全国小学生ハンドボール大会開催地にふさわしい会場設営、市民への意識づけ、また、スポーツ全般を奨励するまちへの取り組みは。                  (2) 第30回大会を迎える経緯は。                  (3) 東京オリンピック、パラリンピック対応でホストタウンの考え方はないのか。（ハンドボール）</p>

市田 博

(4) 本市にハンドボールをより一層普及したい熱意のある団体への協力と支援を。



## 1 中学校給食について

- (1) 2014年4月からデリバリー弁当が実施されたが、努力されているにもかかわらず平成27年度の決算でも明らかなように毎年登録数が大幅に減り、利用者も減っている。なぜこのようなことになるのか市としての認識を問う。
- (2) 全国的にも、近隣地域でも中学校給食の実施が進んでいる。子どもの貧困対策、食育の重要性からも中学校給食についての対策を問う。
- (3) 2010年に「中学校給食の実施を求める請願」が全会一致で趣旨採択された。2015年にも「中学校給食の実施」を求める署名が2688名分寄せられている。こうした市民の願いに応じて中学校給食の実施を求める。
- (4) 「中学校昼食等検討委員会」は、いつまでにどのように進めていこうとしているのか。市の考えを問う。

## 2 自治体職員の働き方の改革について

- (1) 2015年度の決算資料でも明らかなように、本市でも非正規職員が増えている。これは働く貧困層を増やすことになり、住民に奉仕する自治体本来の役割が後退することにもなりかねない。正職員を増やす努力をすべきと思うが、市としてどう進めようとしているのか。
- (2) 働き方の改善の問題では、本市でも一刻も早い解決が求められている。残業時間が大臣告示（年間360時間以内）を超えている職員も多く、有給休暇もきちんととれない職場もあるなかで、どう改善するのか市の考えを問う。
- (3) 本市では過半数が非正規職員になっている。非正規職員の方の要求を受けとめて、賃金など必要な改善を図っていくべきと思うが市の認識を問う。

### 3 再生可能エネルギーの推進、太陽光発電について

- (1) 2011年の東日本大震災から5年8か月になるが、原発で今なお故郷に帰れない人が約9万人。また、地球温暖化防止を進める「パリ協定」が発効された。この現状を直視し、即時原発ゼロの決断を行い、再生可能エネルギー転換を図るよう国に要請すべき。市の見解は。
- (2) 本市の施政方針でも、循環型社会の形成に向けて、再生可能エネルギーの普及を促進するとともに、地球温暖化防止に取り組むことが表明されている。平成29年度までに太陽光発電の普及目標が10%となっているが、どのように達成するのか、市の考えは。
- (3) 太陽光発電の普及を本格的に進めることが求められている中で、本市においては、太陽光発電単独での補助制度を復活すべき。

### 1 防災・減災対策について

- (1) 市民の避難所となりうる建物の非構造部材を含めて、耐震を早急にはかるべき。(学校・公共施設・自治会の公民館など)
- (2) 地震・水害も含め、防災教育をもっと進めるべき。(HUG・防災カルタの活用、地域の避難訓練・体験者の講演会などへの参加、学校でのモデル校での取り組みの進捗状況)
- (3) 非構造部材の耐震の必要性を知らせ、助成できるものはすべき。

### 2 高齢者施策について

- (1) 自転車運転の安全のため、ヘルメットの着用や運転講習などを充実すべき。
- (2) 運転免許証自主返納者に対する京都府などの取り組みを周知し、市独自の助成もすべき。(タクシー・バスのチケット、運転経歴証明書交付手数料の助成など)

### 3 子育て施策について

- (1) 保育所に「育休・産休明け入園予約制度」の創設をすべき。
- (2) 子育て施策だけが全部まとめられた、仮称「京田辺市子育てガイドブック」を作成すべき。

### 1 土砂災害警戒区域指定に対する本市の対応は

京都府が進めている土砂災害警戒区域指定について、市民から問い合わせや要望を受ける。

- (1) 本事業の背景、目的、スケジュール、そして本市との関わり、スタンスを問う。
- (2) 市有地が関係する箇所については、より安全な対策をとってもらいたいという市民の声もある。本市の対応を問う。

### 2 駅ナカ京田辺魅力発信の評価と今後の展望は

本年5月に、新田辺駅構内に駅ナカ案内所がオープンした。

- (1) 約半年経過するが、実績と評価、そして課題を問う。
- (2) 観光客を伸ばしてゆくというトレンド（国、京都府も）の中で、駅ナカ案内所の出店として、松井山手駅構内の空きスペース（キヨスク閉店跡）を利用する考えはないか。ツアー・オブ・ジャパンや全国小学生ハンドボール大会など、全市的イベント時の期間限定でも出店できないか。
- (3) 民泊に象徴される規制緩和の流れの中で、第二京阪京田辺パーキングに再びブースを設ける考えはないか。

### 3 八幡飛地の現状と今後の見通しを問う

平成25年から動きがない飛地開発であるが、隣接する住民の方々が例年実施されている草刈りが、本年は行われず困っているとの苦情があった。

- (1) 現在の飛地開発の①法的な位置づけ、②業者の動き、③八幡市の見解、意向、①～③を踏まえての本市のスタンスを問う。

鈴木 康夫

(2) 今後、いかなる土地利用がされようとも「飛地」であるという不都合はつきまとうが、「飛地解消」という大所高所にたった話し合いを八幡市ともつ考えはないか。